

努力賞

「しましまちゃんはおにいちやん」

峡田小学校 五年 中嶋 祐希

柳田先生、こんにちは。柳田先生は兄弟がいますか。

私は姉がいます。この本は主人公のこねこのしましまちゃんの家に、六人の赤ちゃんが産まれました。どんな時も、しましまちゃんと赤ちゃんはいつしよにすごしています。

私には妹や弟がいないので、この本を読んで、姉や兄の気持ちがわかると思ったので、この本をえらびました。私は一回二年生と遊んだことがあります。遊んでいてとても楽しかったです。その時私は、お姉ちゃんになった気分でした。また、五年生なので一年生のお世話などをよくするようになりました。最初は全ぜんなれませ

んでした。柳田先生は小さい子と話す時どうやって話しかねやんだことはありますか。私はどう話しかけていいかわかりませんでした。でも、この本を読んで、笑顔で優しく話すと話しやすいことに気づきました。今まで小さい子に笑顔で話すことがはずかしくて、できませんでした。これからはこの本のしましまちゃんのことをまねしてみたいと思います。

さらにしましまちゃんは、弟や妹をけしておこりませんでした。ふつうやってはいけないことをやったらおこります。でも、しましまちゃんはおこらず優しく注意していました。柳田先生は、おこらずに優しく注意することが出来ますか。私は、優しく注意出来る自信がありません。

小さい妹や弟がいない人でも、優しい気持ちは、みんな持っていると思います。私は来年六年生になります。

今よりも一年生のお世話をする事が多くなるので、優しくせうしてあげたいと思います。

柳田先生もぜひ読んでみてください。